

令和7年度 鴨志田地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

— 総括表 —		
◆ 事業計画		
<input type="checkbox"/> 地域の現状と今後の方向性		
<p>鴨志田地域ケアプラザが管轄する中里北部地区(鴨志田町、寺家町、たちばな台1丁目、2丁目、成合町)の総人口は14,574人。昭和40年頃の宅地開発により建てられた、大型団地や比較的新しい住宅地が広がっている区分と、農業を営むエリアに区分できる。現在中里北部地区の高齢化率は約30%を超えており、青葉区全体と比べて高い値となっている。(データはいずれも2024年3月現在)</p> <p>地域福祉保健計画や地域ケア会議等での意見交換により挙がってきている、地域の活動者の高齢化(次の世代の担い手不足)、地域での新しい生活様式に合わせた見守りの取り組み方・つながり方などの課題に対して、この地域の強みである住民の自助・互助の意識の高さを活かすネットワークを構築していきます。</p> <p>ケアプラザが身近な相談窓口であるよう、多くの住民が利用しやすい仕組みづくりとして、自治会・町内会館等に出向き、介護保険に関する講座等を通してケアプラザの機能を周知し、課題解決に向けて地域住民と一緒に理解を深めていきます。</p>		
<input type="checkbox"/> 今年度の重点的な取組		
新規	継続	— 具体的な取組内容 —
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	子どもから高齢者まで広く住民が持つ困り事や問題、状況に合わせて、相談でき、適切な機関につなげられるよう、相談事例を地域と共有できる機会をつくり、気軽に参加できる交流会を企画していきます。気づきの和連絡会とおとし、見守り活動を地域住民と共に進めていく他、普及啓発の機会として「気づきのマルシェ」をおこないます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域住民と福祉の専門職、インフォーマルなど社会資源がつながり、地域全体で共助の関係性ができる場、住民等と事業所、ケアマネジャーをはじめとした福祉の専門職が対応力を高められる場として、包括エリアの地域ケア会議や勉強会等を開催します。地域の課題を解決に向けて、包括カンファレンスや研修などの支援をしていきます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	認知症について、正しく理解し早期発見・対応に繋げていくために、地域への普及啓発等を実施します(サポーター養成講座や講演会・勉強会の開催、介護者のついででの周知等)。地域住民の他、郵便局や新聞社、銀行等とも連携し、把握した対象者に対して認知症初期集中支援チームを活用したり、医療機関や区役所と連携したりして対応していきます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	住み慣れた地域で、いつまでも心身共に健康で過ごせるように歩いて行ける身近な場所で開催機関(医療機関・介護保険事業所等)との他職種連携による事業(介護予防)や普及啓発(ハマトレ)に取り組みます。
◆ 事業報告・事業実績評価		
<input type="checkbox"/> 振り返り		
<p>・町内会加入率が低く、相談先や地域の情報が届きにくい小規模のUR住宅に向けて、管理会社とともに「個別相談会」を開催。ケアプラザの周知、介護保険サービスや事業の周知をおこない、住民の抱えている悩みを聞く機会、情報発信の場となりました。見守りにつながる「気づきの和連絡会」では、住民・企業・学校・福祉事業所が連携し、気づきの和の紹介として「気づきの和のわ!」を実施。各組織・団体からの活動紹介の他、気づきの和ポストに寄せられたコメントの展示等をおこない、様々な人々が交流しております。また「かもマチ食堂」や「畑プロジェクト」など、多年に渡る活動の高齢化が進む中、ケアプラザが共に考え、後方支援をおこない、担い手の育成、新しい人材の発掘に繋がり、この1年活発な活動、運営の立て直し基盤を作ることができております。講座から立ち上げた活動もサークル化して、ケアプラザ内でのボランティア活動に加え、読み語りや小学校出張、トーンチャイムは区内シニアの居場所出張、JAZZ倶楽部は区域の認知症理解を深める啓発イベントなどに積極的に参加をして、それぞれの生きがい、遣り甲斐、仲間づくりができたと同時に地域保健福祉活動への理解と意欲、実践へと大きく繋がりました。</p> <p>・地域で活動する、ケアマネジャーをはじめとした福祉の専門職が対応力を高められる場として、勉強会等や研修会などを開催。今後の地域課題解決に向けて支援をおこなっております。</p> <p>・学生や地域住民向けの認知症サポーター養成講座を引き続き開催した他、今年度は認知症状を視覚的に体験できる「VR体験会」や、認知症疾患医療センター長を招いての講演会、士業を講師とした『終活ガイドセミナー』等も開催しました。認知症についてより多くの住民に関心や気づきを持ってもらえるよう、認知症のシンボルカラーであるオレンジ色を広めていく方法を地域と共に考え始め、学生やPTAと一緒に花を植えたり、地区内の手芸サークル等の協力を得ながらマスコット製作に取り組んだりしています。</p> <p>・関係機関との連携、関係づくりにより住み慣れた地域で暮らすための地域づくりに取り組みました。また身近な場所で、継続して介護予防の為の講座も開催しました。</p>		
<input type="checkbox"/> 区からのコメント		
<p>・地域に向いて多世代の相談にのる等、住民に寄り添った支援が続けられていることで、鴨志田地域ケアプラザが相談窓口として地域に浸透し、相談も増えているかと思えます。今後も地域の幅広い相談機関として住民の方々との相談を受け止めていってください。</p> <p>・畑プロジェクトの野菜をかもマチ食堂に提供いただく、美術大学に広報誌の絵を書いていただくなど、地域の方々を持っている力を活用できる場を常に考え、新たに作り出していっています。今後も地域住民が主体的に地域づくりに携われるよう働きかけを行ってください。</p> <p>・認知症サポーター養成講座を多様な対象者に向けて開催していただきありがとうございました。VR体験といった普段はあまり体験することのない機会も作ってくださったことで、気づきが深まる貴重な機会になったかと思えます。中学校でも取組をしていただくことで、今だけでなく、将来の地域づくりにもつながるかと思えます。次年度も地域の団体と連携して、認知症の人が安心して暮らし続けられる地域づくりへの取組をよろしくお願いたします。</p>		

令和7年度鴨志田地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンス等への対応について (事故報告、個人情報保護、備品管理簿)
取組計画	利用者、事業所、関係者を問わず、公正・中立の立場として必要な情報を提供し、サービスを利用する際には利用者、家族の選択に合致したサービスが適切に提供されるよう各関係機関と連絡調整していきます。	・緊急時や事故発生時は、マニュアルに沿って迅速に対応できるよう努めます。 ・個人情報の取り扱いについて、入職時と年2回研修を実施し、知識を深め、意識向上を図ります。郵送・FAX等の個人が特定できる内容を提供する際には、ダブルチェックを行ない、情報漏えい防止に努めます。
実績	公正・中立性の意識を強く持ち、相談対応時等も複数の情報提供を行ないながら、利用者が自己選択できるよう取り組みました。また事業者情報の提供方法について、職員間でも情報の共有を行ないました。	全職員を対象とした研修を年2回開催するほか、入職時研修、職員会議や朝礼での情報共有、注意喚起を行ないました。また、郵送時・FAX送信時には細心の注意を払い、ダブルチェックを徹底しています。地域ケア関連施設長会議で報告される事務処理ミス等の状況についても、検討会を実施し、注意喚起を実施しております。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、身体状況や対象者自らの選択に基づき、介護予防・自立支援に向けたフォーマル・インフォーマルサービスを包括的・効率的に実施できるように支援します。	利用者が住み慣れた自宅、地域で生活における支障を最小限にとどめ、長く継続できるように利用者、家族の意向、心情の変化を把握し、サービス事業所・地域包括支援センター・区役所と連携し、自立支援に向けた取り組みを行ないます。担当職員が不在の時でも対応ができるよう、日頃から職員間の連携を密に行なっています。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額
	【その他料金】	【その他料金】
職員体制	管理者(常勤)1名・保健師(常勤兼務)1名・主任介護支援専門員(常勤)1名・社会福祉士(常勤)1名	管理者(常勤)1名・主任介護支援専門員(常勤兼務)1名・主任介護支援専門員(非常勤)1名
契約者数	106	65

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	・誰もが安心してご利用でき、地域の方たちと交流が持てる場として、お互いが共存していけるようサービス提供を行ないます。 ・ご利用者ご家族の要望に迅速に対応し、地域での交流を図りながら在宅生活を長く続けられるよう支援します。 ・自立支援を常に考え、自己選択ができる機能訓練を多く取り入れたプログラムの提供を行なっています。		
実施体制	【実施日数】月～土(日曜、年末年始を除く) 【提供時間】9:45～16:00 【定員】35名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額
利用料金	【その他料金】 昼食代750円(おやつ代含む)	【その他料金】	【その他料金】
職員体制	管理者1名(常勤兼務) 生活相談員2名(常勤兼務) 看護職員2名(非常勤兼務) 機能訓練指導員2名(非常勤兼務) 介護職員12名(常勤兼務1名・非常勤11名) 運転手4名 調理員5名		
契約者数等	【延べ利用者数】5698 【契約者数】52	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和7年度「鴨志田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	19,710,541	358,368	20,068,909	15,334,451	4,734,458	横浜市より
内 受領額	19,710,541	358,368	20,068,909	16,078,909	3,990,000	
内 戻入額				△ 744,458	744,458	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	300,000		300,000	1,230,770	△ 930,770	
雑入	40,000	0	40,000	9,245	30,755	
内 印刷代			0	0	0	
内 自動販売機手数料	40,000		40,000	9,245	30,755	
内 その他			0	0	0	
その他	△ 3,990,000		△ 3,990,000	△ 3,990,000	0	施設利用料相当控除
収入合計	16,060,541	358,368	16,418,909	12,584,466	3,834,443	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,623,581	170,368	12,793,949	12,412,493	381,456	法人本部経費は含まれていない
内 本俸	11,000,000	170,368	11,170,368	10,174,891	995,477	所長1/8名、コーディネータ1名、サブコーディネータ4名
内 社会保険料	1,300,000		1,300,000	1,503,313	△ 203,313	
内 手当計	212,581		212,581	576,604	△ 364,023	
内 健康診断費	55,000		55,000	52,769	2,231	健康診断、インフルエンザ予防接種
内 勤労者福祉共済掛金			0	0	0	
内 退職給付引当金繰入額	50,000		50,000	98,978	△ 48,978	横浜市社会福祉協議会共済掛金
内 その他	6,000		6,000	5,938	62	独)福祉医療機構退職共済掛金
事務費	1,530,400	188,000	1,718,400	1,745,441	△ 27,041	法人本部経費は含まれていない
内 旅費	5,000		5,000	4,128	872	研修等参加時交通費
内 消耗品費	45,000		45,000	219,053	△ 174,053	コピー用紙、プリンター用紙、事務用品
内 会議ठीい費			0	14,277	△ 14,277	
内 印刷製本費	50,000		50,000	78,741	△ 28,741	広報誌「かもめーる」、資料等印刷
内 通信費	30,000		30,000	73,108	△ 43,108	電話料金、郵便料金
内 使用料及び賃借料	8,400	0	8,400	8,400	0	
内 内 自販機目的外使用料（横浜市への支出）	8,400		8,400	8,400	0	自動販売機設置料
内 内 その他			0	0	0	
内 備品購入費			0	0	0	
内 図書購入費			0	0	0	
内 施設賠償責任保険	5,000		5,000	37,112	△ 32,112	個人情報漏洩、業務中傷害、感染症
内 職員等研修費			0	1,275	△ 1,275	
内 振込手数料	30,000		30,000	7,823	22,177	事業講師派遣料等振込手数料
内 リース料	80,000		80,000	467,534	△ 387,534	コピー機、AED、玄関マット、パソコン
内 手数料	10,000		10,000	8,349	1,651	パソコンセキュリティ
内 地域協力費	20,000		20,000	6,250	13,750	地域自治会協力費
内 公租公課	1,147,000	0	1,147,000	564,100	582,900	
内 事業所税			0	0	0	
内 消費税	1,147,000		1,147,000	564,100	582,900	
内 印紙税			0	0	0	
内 その他			0	0	0	
内 その他	100,000	188,000	288,000	255,291	32,709	ガソリン代、車検、自動車保険料、市社協会費、青葉区社協会費
事業費	500,000	0	500,000	1,412,342	△ 912,342	法人本部経費は含まれていない
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	500,000		500,000	1,412,342	△ 912,342	
内 その他			0	0	0	
管理費	4,922,560	0	4,922,560	6,233,308	△ 1,310,748	法人本部経費は含まれていない
内 光熱水費	3,067,560		3,067,560	4,331,943	△ 1,264,383	
内 清掃費	780,000		780,000	817,846	△ 37,846	
内 機械警備費	320,000		320,000	321,183	△ 1,183	
内 設備保全費	605,000	0	605,000	415,593	189,407	
内 空調衛生設備保守	100,000		100,000	0	100,000	
内 消防設備保守	130,000		130,000	58,397	71,603	
内 電気設備保守			0	0	0	
内 害虫駆除清掃保守	75,000		75,000	33,092	41,908	
内 駐車場設備保全費			0	0	0	
内 その他保全費	300,000		300,000	324,104	△ 24,104	
内 共益費			0	0	0	
内 その他	150,000		150,000	346,743	△ 196,743	ゴミゼロルート回収に係る経費、植栽剪定、植栽消毒
修繕費	474,000		474,000	437,542	36,458	予算：指定額
太陽光パネル保守点検			0	0	0	
太陽光パネル修繕（追加）			0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	法人本部経費は含まれていない
内			0	0	0	
支出合計	20,050,541	358,368	20,408,909	22,241,126	△ 1,832,217	
差引	△ 3,990,000	0	△ 3,990,000	△ 9,656,660	5,666,660	

自主事業費 収入	300,000	0	300,000	1,230,770	△ 930,770	
自主事業費 支出	500,000	0	500,000	1,412,342	△ 912,342	
自主事業 収支	△ 200,000	0	△ 200,000	△ 181,572	△ 18,428	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	40,000	0	40,000	6,554	33,446	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	8,400	0	8,400	8,400	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	31,600	0	31,600	△ 1,846	33,446	

令和7年度「鴨志田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞

収入の部 (単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	20,762,494	208,632	20,971,126	20,835,434	135,692	横浜市より
内 受領額	20,762,494	208,632	20,971,126	20,971,126	0	
戻入額				△ 135,692	135,692	
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	200,000		200,000	200,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,529,895	0	5,529,895	5,529,895	0	横浜市より
内 受領額	5,529,895		5,529,895	5,529,895	0	
戻入額				0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】			0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
内 印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	0	0	
収入合計	26,646,389	208,632	26,855,021	26,719,329	135,692	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	22,896,889	55,632	22,952,521	24,084,781	△ 1,132,260	法人本部経費は含まれません
内 本俸	13,000,000	55,632	13,055,632	17,280,497	△ 4,224,865	所長3/8名、包括3名、生活支援1名
社会保険料	3,530,000		3,530,000	3,280,156	249,844	
手当計	5,858,889		5,858,889	3,132,578	2,726,311	
健康診断費	42,000		42,000	45,006	△ 3,006	健康診断、インフルエンザ予防接種
勤労者福祉共済掛金			0	0	0	
退職給付引当金繰入額	416,000		416,000	328,732	87,268	横浜市社会福祉協議会共済掛金
その他	50,000		50,000	17,812	32,188	独)福祉医療機構退職共済掛金
事務費	650,000	153,000	803,000	1,180,417	△ 377,417	法人本部経費は含まれません
内 旅費	5,000		5,000	18,639	△ 13,639	研修等参加時交通費
消耗品費	339,000		339,000	383,007	△ 44,007	コピー用紙、プリンター用紙、事務用品
会議諸費			0	0	0	
印刷製本費	50,000		50,000	75,350	△ 25,350	資料等印刷
通信費	116,000		116,000	91,849	24,151	電話料金、郵便料金
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
内 自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	0	0	
戻入額			0	0	0	
備品購入費			0	0	0	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	5,000		5,000	74,224	△ 69,224	個人情報漏洩、業務中傷害、感染症
職員等研修費	3,000		3,000	1,275	1,725	
振込手数料	10,000		10,000	9,268	732	事業講師派遣料等振込手数料
リース料	102,000		102,000	407,596	△ 305,596	コピー機、AED、玄関マット、パソコン
手数料	10,000		10,000	10,830	△ 830	パソコンセキュリティ
地域協力費	10,000		10,000	6,250	3,750	地域自治会協力費
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
内 消費税			0	0	0	
戻入額			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他		153,000	153,000	102,129	50,871	ガソリン代、自動車保険料、市社協会費、区社協会費
事業費	1,384,000	0	1,384,000	868,928	515,072	法人本部経費は含まれません
内 協力医	630,000		630,000	504,000	126,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	100,000		100,000	934	99,066	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	153,920	80	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	200,000		200,000	11,255	188,745	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	300,000		300,000	198,819	101,181	
その他			0	0	0	
管理費	1,589,500	0	1,589,500	1,656,948	△ 67,448	法人本部経費は含まれません
内 光熱水費	1,285,500		1,285,500	1,151,528	133,972	
清掃費	200,000		200,000	217,401	△ 17,401	
機械警備費	9,000		9,000	85,377	△ 76,377	
設備保全費	45,000	0	45,000	110,471	△ 65,471	
内 空調衛生設備保守			0	0	0	
消防設備保守	20,000		20,000	15,523	4,477	
電気設備保守			0	0	0	
害虫駆除清掃保守	5,000		5,000	8,796	△ 3,796	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	20,000		20,000	86,152	△ 66,152	
共益費			0	0	0	
その他	50,000		50,000	92,171	△ 42,171	ゴミゼロルート回収に係る経費、植栽剪定、植栽消毒
修繕費	126,000		126,000	116,308	9,692	予算：指定額
その他	0	0	0	0	0	法人本部経費は含まれません
支出合計	26,646,389	208,632	26,855,021	27,907,382	△ 1,052,361	
差引	0	0	0	△ 1,188,053	1,188,053	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0
自主事業費 支出	754,000	0	754,000	364,928	389,072
自主事業 収支	△ 754,000	0	△ 754,000	△ 364,928	△ 389,072

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和7年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 鴨志田地域ケアプラザ

令和7年4月1日~令和8年3月31日

(単位: 千円)

科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入															
介護保険収入	1,000	2,654	-1,654	3,000	3,902	-902	7,000	10,636	-3,636	60,000	47,929	12,071	1,440	976	464
その他	0	0	0	0	0	0	1,000	1,802	-802	4,000	5,744	-1,744	0	0	0
事業・負担金収入			0			0			0			0			0
利用者負担金収入			0			0			0	4,000	4,299	-299			0
受託収入			0			0	1,000	1,802	-802			0			0
			0			0			0			0			0
			0			0			0			0			0
その他			0			0			0		1,445	-1,445			0
収入合計(A)	1,000	2,654	-1,654	3,000	3,902	-902	8,000	12,438	-4,438	64,000	53,673	10,327	1,440	976	464
支出															
人件費			0			0	7,200	10,054	-2,854	49,740	50,772	-1,032			0
事務費			0			0	500	1,145	-645	8,000	4,218	3,782			0
事業費			0			0	300	57	243	4,000	5,601	-1,601			0
管理費			0			0			0	3,700	4,654	-954			0
その他	750	1,231	-481	2,500	1,809	691	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
消費税			0			0			0			0			0
介護予防プラン委託料	750	1,231	-481	2,500	1,809	691			0			0			0
			0			0			0			0			0
			0			0			0			0			0
その他			0			0			0			0			0
支出合計(B)	750	1,231	-481	2,500	1,809	691	8,000	11,256	-3,256	65,440	65,245	195	0	0	0
収支 (A)-(B)	250	1,423	-1,173	500	2,093	-1,593	0	1,182	-1,182	-1,440	-11,572	10,132	1,440	976	464

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和7年度 自主事業計画書・報告書

<p>■ 事業</p> <p>1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）</p>	<p>■ 事業の性質</p> <p>1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業</p>	<p>■ 主な対象者、従たる対象者</p> <p>1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他</p>
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン実施回数	延べ参加人数	うちオンライン参加人数
1	子育て相談(ほっこりんこ)	平成16年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	活動を通じて、育児相談を区の子育て支援課に迅速に繋げる。地域の子育て世代のコミュニケーションの場の提供を行う。	3:養育者及び乳幼児	2・4	区の子育て支援者が来館し、遊びのスペースを設けながら養育者の相談に対応し、区の子育て支援課につなげる。毎週水曜日(祝日を除く)	48	0	432	0
2	介護者のつどい	平成16年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	現介護者や介護経験者がお互いの悩みや体験を話し、共感・共有・情報交換を行うことを目的とする。	5:地域	1・6	茶話会形式で、介護者・介護経験者と包括職員などが悩みや体験を共有し合う。年9回 第4木曜日(8月・12月・3月を除く)	11	0	79	0
3	唄声風歌	平成17年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	歌唱をきっかけに住民の知り合う場、交流が持てる内容で行う。毎回、茶話会の時間を設けて情報交換もできるように実施していく。	1:高齢者	5	ピアニストを招き、生演奏に合わせて唱歌やポップスを歌う。月1回	13	0	344	0
4	デイサービス ひろがりサロン	平成17年度	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	地域の方や民生委員が連携して地域の中高齢者の方の居場所づくりを行う。	1:高齢者	5	介護保険に関係なく利用できる高齢者向けのサロン。地域の人がボランティアとして登録し、見守りが必要な高齢者に談話、体操、昼食の提供、散歩、誕生会、唄、遠足他年間様々な活動を取り入れて互いに支え合うことを具現化する。月3回～4回	47	0	974	0
5	布あそびの会	平成17年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	裁縫をきっかけとした、地域住民の仲間づくりボランティアの活躍の場づくり	1:高齢者	5	講師を囲みながら手芸を楽しむ。小物づくりをする。月1回 毎月第1火曜日9:30～11:30	21	0	110	0
6	書を楽しむ会	平成18年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	地域住民の交流事業。書道を通して地域での仲間づくりを目的に行う。講師は近隣住民が担い、住民同士の情報交換の場として活用していく。	5:地域	1	講師を招いて書道を楽しみ、年に1回展示を行う。毎月第1.3水曜日10:00～12:00 毎月第2金曜日10:00～12:00	36	0	253	0
7	体操教室ひまわり	平成18年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	介護予防、同年代の仲間づくりを目的に行う。地区の保健活動推進員の協力を得ながら、高齢者の孤立化を防ぐ。	1:高齢者	5	講師を招き、緩やかな体操を行う。月2回 毎月第1、第3水曜日13:30～15:00	20	0	209	0
8	水墨画	令和6年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	自宅でも手軽に楽しめる趣味活動の啓発 水墨画を通じての地域空同士の顔の見える関係づくり。ボランティアの育成	5:地域	1.2.3.4	隔月(奇数月)開催。専門講師を招いてはがきサイズで水墨画を楽しむ。	5	0	35	0
9	鴨のお茶の間	平成19年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	地域住民同士の仲間づくり、ボランティア活動につなげる目的で開催。参加者が地域で活躍できるよう、きっかけづくりも行う。	1:高齢者	5	講師を招き、地域で茶道を楽しむ会を行う。月1回 毎月第1金曜日13:30～15:00	14	0	201	0
10	笑和会	平成19年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	主に男性対象の調理実習を通して、地域で活躍できるよう、ボランティア団体の紹介や地区の行事等を紹介しながら、ボランティア活動につなげていく。	1:高齢者	5	定年退職後の男性の集まり。料理を作って食べながらコミュニケーションをとる。月1回 毎月第4火曜日 10:00～13:00	21	0	233	0
11	楽しい折り紙の会	平成20年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	折り紙作りをきっかけに、住民同士の交流をはかる場として行う。参加後に地域のサロンなどで学んだことを披露できるよう、適宜活動紹介も行っていく。	1:高齢者	4・5	講師を招いて季節にあった折り紙を折り、楽しむ。隔月1回 第3木曜日	2	0	4	0
12	アロマDE体操	令和7年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	事業所連携。体感トレーニングとアロマのリラックス法を学ぶ。日曜日の稼働率向上。	1:高齢者	6	アロマを使いながら体操を通じたコミュニケーション。月1回 日曜日10:00～11:00	10	0	46	0
13	中里北部「ちょこボラ」	平成23年度	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	地域の介護保険、医療制度で補えない、日常生活の困りごとの解決。住民主体の活動支援。見守り活動やボランティアの育成を行う。	5:地域	1・2・6	介護保険、医療制度で補えない、日常生活の困りごとを住民で解決する取り組みを支援する。年4回(定例会議)	21	0	152	0
14	鴨志田ウォーキングクラブ(ウォーキングコース紹介コーナー作り)	平成23年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	日頃は健康維持、地域住民の仲間づくり、情報交換の場として開催。コース検討から実施まで参加者が関わりながら歩く活動。年に1～2回コースを地域向けに模造紙に書いて活動を見える化して貼り出しを行う。	1:高齢者	5	住民主体で年間計画を立て、ウォーキングに出かける。毎月1回第2水曜日 その他半期に1～2回、コースを模造紙に書いて貼り出す。	10	0	116	0
15	畑プロジェクト	平成23年度	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	地域住民の交流を目的に行う。ボランティア育成。ボランティア活躍の場を拡げ地域住民とつながる活動の展開を目指す。	1:高齢者	4・5	寺家に畑を借り、通年で作物を作り収穫を楽しむ。季節ごとに計画表、作業表を参加者が作成し、収穫物を地域で活用する時もある。月8回/毎週日・火曜日(その他必要に応じて随時)	49	0	104	0
16	かも☆ん(子育てひろば・ODE KAKEかも☆ん)	平成25年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	子育て世代の親子のひろば。参加者同士が同じ空間をともに過ごすことで子育てのヒントがもらえたり、お友達ができたり、母親の孤立化を防ぐ。	3:養育者及び乳幼児	5	地域のボランティアによる親子の広場。月2回 毎月第1、第3火曜日 10:00～12:00(祝日は休み)	29	0	301	0
17	絵本の読み語り 育成・実践講座	令和7年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	読み語りの活動の広がり求めて人材発掘、育成を行う。社会参加へのきっかけづくり。	1:高齢者	2・3・4・5・6・7	講師を招き読み語りの基本を学び実践する。育ったボランティアの活動にも参加する。全4回。	2	0	7	0
18	合同 包括カンファレンス	平成26年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	エリアのケアマネジャーのスキルアップを目指す。	6:事業者	5	奈良ケアプラザ、恩田ケアプラザと合同開催。講義やグループワーク形式で研修会を開催年6回開催 5月、7月、9月、11月、1月、3月開催予定	8	0	110	0

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者		
1: 地域活動交流事業	2: 地域包括支援センター運営事業		1: 優先的に取り組みが求められる事業	2: 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		1: 高齢者	2: 障害児・者	3: 養育者及び乳幼児
3: 生活支援体制整備事業	4: 共催(1と2)	5: 共催(1と3)				4: 子ども・青少年	5: 地域	6: 事業者
6: 共催(2と3)	7: 共催(1と2と3)					7: その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン 実施回数	延べ 参加人数	うち オンライン 参加人数
19	悠タみのりサロン	平成26年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	地域住民の孤立化を防ぎ、関係を深める目的で行う。 住民ボランティアの活躍の場の提供。	1: 高齢者	5	地域の高齢者が集まって終活について、健康についての他、隔月で歴史講座を聞いた後、意見交換会を行う。 月1回 第4水曜日13:30~15:30	17	0	163	0
20	鴨志田ノルディック	平成27年度	2: 地域包括支援センター運営事業	2: 発展させるねらい	元気づくりステーションでスタート。地域の高齢者の健康づくり、地域の仲間づくりを行う。	1: 高齢者	5	ケアプラザに集合してから外で活動を行う。介護予防を目的に年に数回ケアプラザ内で「栄養」、「口腔ケア」の講座を行う。 月2回	17	0	172	0
21	はまちゃん体操	平成27年度	4: 共催(1と2)	1: 優先的に取り組み	シニアの引きこもり防止 健康増進 仲間づくり	1: 高齢者	5	映像を見ながら「はまちゃん体操」を行う。 月2回 毎週第1.3金曜日 10:10~11:00	23	0	142	0
22	鴨ちゃん健康クラブ	平成27年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	ハマトレ・口腔ケア・ロコモ予防・栄養改善など、活動を通して、介護予防や同年代の仲間づくりを行う。	1: 高齢者	5	ハマトレ・口腔ケア・ロコモ予防・栄養改善などの活動を行う。 月1回	14	0	223	0
23	カフェひるがお	平成28年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	障がい児・者支援と地域住民への理解が得られる機会の提供。 障がい児・社の活躍の場の提供 地域のコミュニティ ボランティアの活躍の場の提供	2: 障害児・者	1・3・5	高次脳機能障害のグループによるコーヒー販売と障がい児・者の方の手作りパン販売。 販売にボランティアを育成。 月1回 第3火曜日 11時半~14時	8	0	121	0
24	かもマチ食堂	平成28年度	5: 共催(1と3)	2: 発展させるねらい	子どもから大人まで集まる、異世代交流の場として開催。地域住民が町の先生として、子供たちに調理や遊びを提供し、住民の孤立化を防ぐ取り組みです。	5: 地域	1・2・3	コロナ後、「長年」だけでなく、子ども、工作他、内容は多岐に渡り検討しながら子どもの居場所づくりを行っています。 月1回開催。他ミーティングとして月1回集まる。 15:20~17:00	19	0	443	0
25	シルバーリハビリ体操	平成28年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	介護予防を目的に行う。個々の身体に合わせて健康維持を目標に行う。	1: 高齢者	5	近隣の介護施設職員に依頼して、ストレッチ、ポール、体操棒、レクリエーション等行う。 月2回 毎月第2、第4火曜日14:00~15:00	24	0	253	0
26	すこやかお食事会	平成28年度	7: 共催(1と2と3)	1: 優先的に取り組み	エリアを分けて、地区社協中心で民生委員、地域のボランティアで昼食の提供を行い交流する。	5: 地域	1	隔月(奇数月)開催。食事の提供、交流、レクリエーション。	11	0	259	0
27	認知症サポーター養成講座	平成28年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	認知症への理解を深め、地域全体での見守り体制を構築していく。	5: 地域	4・6	主に地域住民や担当エリア内すべての小学校・中学校・大学・企業を対象に、認知症の病識や認知症状が見られる方への対応方法などを伝えていく。(昨年も実施した団体については引き続き年1回実施)	7	0	486	0
28	出張相談	平成29年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	主にたちばな台地区の住民の介護予防・介護保険・福祉サービス・権利擁護等の相談の受付を目的とする。	5: 地域	1	たちばな台地区の地域住民(主に高齢者)の身近な相談場所として、介護予防・介護保険・福祉サービス・権利擁護等の受付を行う。 月1回 第1火曜日	12	0	3	0
29	ふれあいサロン	平成30年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	主に高齢者の茶話会として行ないます。集まりを通して、介護予防に関する情報発信をしていきます。	1: 高齢者	5	ハマトレ、ボードゲーム、昼食会を通して、ご近所の情報交換、同年代の仲間づくりに繋がります。概ね毎週火曜日開催	37	0	307	0
30	鴨の花のとも	平成30年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	生け花をきっかけに、住民の交流を図り、多世代交流の場として行う。	1: 高齢者	5	地域の生け花教室から講師を招き、生け花の基本から季節に応じた作品を作る。門下生の実演の場として役立っている。 月1回 毎月第4土曜日10:00~12:00	11	0	123	0
31	鴨志田フォトサークル	平成31年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	フォト活動を通じての地域住民同士の交流。地域の行事などを記録するボランティアの育成を行う。	1: 高齢者	5	季節に合わせて撮影会と講習会を企画し、交流会として食事会等を行う。ケアプラザや地域行事への記録係としてボランティア参加予定。 月1回、その他不定期。	6	0	109	0
32	シニアボランティア説明・登録会	令和23年度	5: 共催(1と3)	1: 優先的に取り組み	ボランティアの育成 ボランティア同士のつながりづくり	1: 高齢者	5	生活支援コーディネーターとデイサービスの管理者が口話し、説明する。ポイントカードを協会から発行し活用してもらう。 年1~2回不定期	1	0	5	0
33	気づきの和連絡会	令和2年度	7: 共催(1と2と3)	2: 発展させるねらい	住民や児童・学生、地域で働く人々が連携し、まちで見守りの輪を広げる取組。中里北部地区の取組。	6: 地域	5	必要に応じた会合を開き、地域でのニーズに合わせた活動を展開する。 年4回	14	0	332	0
34	四季のコンサート	令和2年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	地域活動でレクリエーションを目的に活動している、個人や団体の発表の場づくり。団体の会員募集など活動の活発化の後方支援。ケアプラザの周知。地域の方の生活圏内での楽しめるイベントを提供し、引きこもりを予防する。	5: 地域	1	季節や行事に合わせて、コンサートやレクリエーションを行う。 年1~4回	2	0	68	0
35	収穫体験会(サツマイモ)	令和2年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	地域住民の交流を目的に行う。ボランティアの活躍の場づくり、新しいボランティアへの活動参加促進。親子、子育て支援。自然とのふれあい。	5: 地域	1.3.4	6月に種付け、年間を通じた草取り、みずやり、観察、収穫を行う。	1	0	50	0
36	情報交換会	令和2年度	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	インフォーマルサービス関係者と事業所の顔の見える関係づくり	1: 高齢者	5・6	企業、民生委員、居宅介護支援事業所のケアマネジャーが集まり、顔の見える関係づくりを行う。 年1回	1	0	41	0
37	手先活き活き講座	令和2年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	手先を使って介護予防につなげる。多世代で参加し楽しめるプログラムを提供する。	5: 地域	1	四季折々に多世代で楽しめるプログラムを提供する。今年度は「干支人形を作ろう」をテーマに年1開催した。	1	0	6	0

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン 実施回数	延べ参加人数	うちオンライン 参加人数
38	デジタルライフを楽しむ会	令和2年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	シニアのデジタルライフサポート。地域住民のライフワークサポート。地域の仲間づくり。ボランティア育成	5:地域		講師を招き、PC、タブレット、スマホなどを使って、生活を便利にしたり、楽しみを拡げるための講座。地域貢献になるボランティア活動参加。 毎月3回 第1.2月曜日	32	0	146	0
39	ぬりえサロン 彩(SAI)	令和2年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	高齢者が自宅で楽しむことを目的にした講座。スキルアップもできて、やり甲斐と仲間づくりを行う。	1:高齢者		講師オリジナルの大人向けの原画を提供し色鉛筆で塗り進める。 月1回 第3金曜日	12	0	96	0
40	放課後支援プログラム	令和2年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	児童の放課後の居場所づくり。教える側のボランティアの育成。	4:子ども・青少年	1・5	英検取得、ロールプレイなどを取り入れた英語支援をはじめ、絵画、囲碁、ダンスなどを取り入れ、学校が終了した時間帯への居場所を広げる。 月8回	55	0	339	0
41	Salon de Duck	令和3年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	地域の大人が語学を忘れないよう学ぶ機会を提供。初心者英会話でやり甲斐を見つけるクラスの開講。英語を通じたコミュニケーションとコミュニティづくり。	1:高齢者		ネイティブスピーカーの先生を招き、英会話初心者と過去に経験のある方用の中級講座を開催。子供向け放課後支援の鴨イングリッシュの支援や地域向けに弁論大会などを行う。 月2回	24	0	224	0
42	あおば音楽遊びの会	令和3年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	プロの音楽家が集まり、地域の親子に良質な音楽の提供と興味、継続していく中で参加の親子とのコミュニケーションを図り、子育て支援を行う。	5:地域		専門家による演奏や読み語りなど行う。 月1回	17	0	311	0
43	ウクレレ初心者講座 LEALEA	令和3年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	ウクレレをきっかけに地域住民の交流を図る。手軽な楽器を始めることでやり甲斐を見つける。地域の場に出て演奏できるボランティアの育成に繋げる。	1:高齢者		講師を招いて、初心者講習をきっかけにウクレレのグループを立ち上げる。 月1～2回	22	0	116	0
44	鴨ちゃんカフェ	令和3年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域住民の交流(多世代交流)。ロコモ予防(認知カフェ)。ケアプラザの周知。	5:地域	1,2,3,4	近隣の2店舗が輪番で共催して場所を提供し、職員が出向いて地域向けの集まりの場をひらく。 毎月第3月曜日 奇数月 15:00～16:00 偶数月 10:00～11:00	12	0	83	0
45	かるがもクラブ	令和3年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	世代間交流。子どもの情操教育。シニアの介護要望。障がい児・者のための音楽療法。日曜日の居場所の提供。	5:地域	1,2,3,4	講師を招いて年齢に関係なくトーンチャイムを楽しむ。機会があれば発表会を行う。 月2回	22	0	180	0
46	子育て支援ネットワーク	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	こども家庭支援課、ラフール、民生委員・児童委員・近隣の子育て施設との情報交換会。	7:その他		こども家庭支援課、ラフール、民生委員・児童委員、ケアプラザ内で子育て支援を行う団体、赤ちゃん訪問のエリアの保健師さんを招いて情報交換会を行う。 年1回	1	0	20	0
47	古典文学を楽しむ会	令和3年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	古典文学を通じた高齢者の仲間づくりや生き甲斐づくりを行う。	1:高齢者		長編の「枕草子」を読み進める中で、楽しみや地域での仲間づくりを目的に継続した活動に結び付けサークル化を目指す。 月2回 毎月第2.4土曜日	20	0	243	0
48	手和の会	令和3年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	既存団体の地域貢献とやり甲斐づくり。手話を継承する新しい人材の育成。手話の普及啓発、身近な拠点での活動に結び付けきっかけをつくる。	1:高齢者		地域の手話グループが担い手になり、手話講座を開催。新しい人材の育成を行う。 月1回	30	0	229	0
49	英語で朗読の会	令和7年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	英語を通じたコミュニケーション場づくり。世代間交流。生きがい、遣り甲斐づくり。	1:高齢者		講師を招いて、発音を重視した英会話を体験しながら、スキルアップを行う。 月1回	9	0	36	0
50	鴨志田フリースペース	令和7年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	放課後の子どもの居場所づくり。日中の不登校親子の居場所の提供。少人数制の活動者の支援。地域の顔の見える関係作り。	5:地域		終日のラウンジ開放に加えて、地域ケアルーム限定で空きがあるときだけ利用の許可を行う。	95	0	468	0
51	絵本コンサート	令和3年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	子どもから大人までが楽しめる絵本の読み語り活動展開。ボランティア育成。基礎知識を学び、講座を通じた仲間づくりを行う。	5:地域	1・2・4	定例で講師を招いて勉強を行う。毎月子育て支援の場とデイサービスで読み語りの実践をボランティア活動として行う。また、「絵本コンサート」と題して地域向けのコンサートを年に1～2回開催する。 月2回(定例とボランティア) 毎月第2火曜日、第4木曜日10:00～12:00 12月に絵本コンサートを開催した	1	0	30	0
52	わたしノート	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	わたしノートの活用について周知する	5:地域		地域包括支援センターの職員の講話。専門家を招いてのお話や参加者同士の意見交換。 不定期。	1	0	25	0
53	赤十字救急法講習会	令和8年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	AEDを主としたものための活用法の周知。防災への意識の向上。地域の顔の見える関係づくり。	1:高齢者		日本赤十字社を招き基礎講習とその中にAEDの操作実践を取り入れて講習を開催。同時に避難経路の確認なども行う。不定期	1	0	19	0
54	いきいき暮らしに役立つセミナー	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	専門家を招いて地域のライフワークに役立つ講話を行い、質疑応答で疑問に答え、中でも専門分野に繋げるべき案件があれば迅速に対応するきっかけとする。	5:地域		予め講話の内容を講師と確認し、地域に発信したい内容をファイナンシャルプランナー他専門分野の方が集まって順番を追って「暮らしに役立つ話」を講話する。質疑応答に丁寧に答え、アンケート調査や振り返りを行う。 年7～8回	2	0	34	0
55	歴史謎解きシリーズ	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	専門家を招いて、歴史を深く学ぶ。	1:高齢者		専門家を招き、歴史講話を聴く。 年6回	12	0	173	0

■ 事業 1: 地域活動交流事業 2: 地域包括支援センター運営事業 3: 生活支援体制整備事業 4: 共催(1と2) 5: 共催(1と3) 6: 共催(2と3) 7: 共催(1と2と3)		■ 事業の性質 1: 優先的に取り組みが求められる事業 2: 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1: 高齢者 2: 障害児・者 3: 養育者及び乳幼児 4: 子ども・青少年 5: 地域 6: 事業者 7: その他		
--	--	---	--	---	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン実施回数	延べ参加人数	うちオンライン参加人数
56	フードサポート	令和7年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	地域の一人親、多国籍の親子へのアプローチと顔の見える関係づくり。来館時のヒアリングと専門機関との連携で支援の和を広げる。	3: 養育者及び乳幼児	5	社会福祉協議会が応募の取りまとめを行う。開催周知はケアプラザでのを行い、この事業をきっかけにケアプラザを周知し、来館時に簡単な実情が把握できるよう声掛けをする。情報の共有を行いその後の見守りに繋げる。	4	0	21	0
57	サードプレイスカラフル	令和4年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	子ども支援 地域と学生の繋がりがづくり 世代間交流	4: 子ども・青少年	5	学生ボランティアを招いて子ども向けのプログラムを企画・実施する。年に2回1日プログラムでカレーを作って食べる。毎月1回 第1日曜日9:00~12:00または12:00~15:00	17	0	216	0
58	キッチン染色	令和4年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	大学との連携 世代間交流	5: 地域	1・2	玉ねぎでシルクスカーフを染める。その他赤ワイン、カレー粉などでの染色の仕方を講義。年1回	2	0	12	0
59	毛糸遊びの時間	令和4年度	7: 共催(1と2と3)	2: 発展させるねらい	趣味を通じた仲間づくり 高齢者の介護予防と生きがいづくり ボランティアの育成 区域や地域手芸団体との交流 認知症の理解を深めるための啓発活動の普及	1: 高齢者	5	編み物、裁縫をきっかけに地域住民の仲間づくりとして行います。令和6年度からは認知症マップづくりに参加して、地域の中のマップづくりに興味のあるボランティア育成を協働して行う。 月2回第1. 3月曜日 9:00~12:00	9	0	68	0
60	姿勢美人講座	令和4年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	体幹トレーニングを取り入れ、主として若年層の参加を狙い、健康と世代間交流を目的に行う。	5: 地域	1	体幹トレーニングを行う。 毎月第1・第3水曜日 15:30~17:00 月2回	20	0	139	0
61	スマホ講座	令和4年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	企業連携。 高齢者支援。	1: 高齢者	5	ソフトバンクと企業連携し、デモ機を持参してもらい、高齢者にスマホの操作法を学ぶ機会を提供する。 年2回	2	0	25	0
62	セルフカウンセリング講座	令和4年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	ワークを取り入れながら進めることで、自分の内面を知ったり、他の方の話の中や講師から学び、現在抱えている問題があれば解決できるように支援する。	5: 地域	1.2	講師を招いてセルフカウンセリングの入門から基礎を学ぶ。 年1~2回	6	0	35	0
63	登録団体懇親会(助成金の説明会と使い方の発表)	令和4年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	団体の活動を活性化する 社会福祉協議会の活動の周知や理解 ケアプラザの活動周知や理解 団体同士の横のつながり作り	5: 地域	1.2.3	登録団体でケアプラザを定期的に利用している団体が集まって、活動報告を行い、社会福祉協議会より助成金の活用について説明してもらう。	2	0	65	0
64	楽しい包丁とき	令和4年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	地域住民同士の交流。 ケアプラザの周知。 ボランティア育成。 地域住民の生活サポート。	5: 地域	1.2.3.4	講師を招いて包丁研ぎを実践する。自宅の包丁を1本研いで持ち帰ることができる。任意でボランティア活動をしてみたい方を募り勉強会を定例化する。 不定期	1	0	4	0
65	みんなの学習室	令和4年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	専門機関との協働(あおばコミュニティテラス)。 ユース(学生)との繋がりがづくり。 児童の学習支援。 ケアプラザの周知。	4: 子ども・青少年	5	あおばコミュニティテラスと協働し、夏休みの児童の学習支援を行う。支援者は高校生・大学生。 年6回	4	0	71	0
66	鴨MYトレUP	令和5年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	体操や脳トレを取り入れた介護予防 地域の仲間づくりと健康増進	1: 高齢者	5	講師を招いてコグニサイズ、椅子ヨガなどを取り入れた体操を行う。セルフトレーニングができるように、丁寧な指導で自宅での実践ができるようなフォローを行っていく。	12	0	129	0
67	園芸講座	令和5年度	5: 共催(1と3)	2: 発展させるねらい	園芸講座を通じてボランティアの育成や、新しいボランティア人材の発掘を行う。	5: 地域	4	専門家を招いて園芸の知識や実践を学ぶ。ボランティア募集を行い、花壇を綺麗にするボランティアとして活動できる場の提供を行う。 年2~4回	2	0	26	0
68	鴨志田健康麻雀初心者講座	令和5年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	地域でまだケアプラザを知らない方が麻雀を通じて、ケアプラザの活動に参加するきっかけづくり。 健康麻雀を通じての介護予防と仲間作り。	1: 高齢者	5	健康麻雀ボランティアの会のメンバーと地域の麻雀をしたことのない方が集まって麻雀を楽しむ。 月2回 ※卒業制度(2年間)あり	24	0	430	0
69	くすりの話	令和5年度	4: 共催(1と2)	1: 優先的に取り組み	エリアの薬局との連携 地域住民への地域包括支援センターの周知 薬局の機能周知 薬の正しい知識を学ぶ機会の提供	6: 事業者	1.5	講座前にケアプラザ包括の周知。包括エリア内の薬局と連携し、テーマを決めて薬剤師が講話をする。年間2回の鴨めーる記事掲載と、講座の解説 年2回	2	0	25	0
70	ジャズボーカル講座	令和5年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	英語で歌うジャズを通じて仲間づくりと生きがいづくりを行う。 デイサービスや地域でのボランティア活動に参加できるきっかけや人材を育てる。	1: 高齢者	5	講師の弾き語り4曲くらいを仕上げ、地域で発表する。年10回	11	0	218	0
71	楽しい将棋講座	令和5年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	介護予防のために健康麻雀を楽しむことを定例とする。ボランティアで講師として初心者の指導をするための技能向上を目指し地域のボランティアの人材発掘と育成をケアプラザと協働する。	1: 高齢者	5	初心者の会の運営についての会議と講師のスキルアップとしての集まり。ボランティアの育成、実践のためのマネジメント。 月2回	23	0	82	0
72	楽しい朗読講座	令和5年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	シニアの仲間づくりと生甲斐づくり 口腔ケアなど介護予防	5: 地域	4	講師を招き朗読を楽しむ 全6回	10	0	104	0
73	地域向け麻雀大会	令和5年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	地域住民同士のつながりづくり 脳トレ	1: 高齢者	3	概ね高齢者が参加して景品を準備しながらトーナメント制で健康麻雀を行う。不定期	24	0	430	0
74	eスポーツを楽しもう！体験会	令和6年度	7: 共催(1と2と3)	1: 優先的に取り組み	市の推奨事業の一つとなる「eスポーツ」を体験して団体で導入できる仕組みを知る。体験することで、注意事項や楽しさを知る。	5: 地域	1.4	市の職員も含めて、指導者を招き体験会を行う。 単発(年1回)	1	0	30	0

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン 実施回数	延べ参加人数	うちオンライン 参加人数
75	ポッチャ体験会	令和3年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	スポーツ推進員や自治会などと連携し地域の方にポッチャを知ってもらう機会を作り、ゲームを楽しむ。	5:地域	1,2,5	スポーツ推進員、連合自治会と連携して地域住民同士の交流を図る。 月1回	12	0	118	0
76	楽しい料理時間	令和7年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	調理と会食を通じて顔の見える関係づくりを行う。地域の高齢者の食を通じた仲間づくりと生きがい作り。	3:養育者及び乳幼児	5	助産師による母乳育児、離乳食、乳児の成長の話をして母親の負担が軽減できるようなアドバイスを行う。 年1～2回	7	0	162	0
77	歌声家族	令和5年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	高齢者の口腔ケア 高齢者の仲間づくり 高齢者の引きこもり防止 高齢者の生きがいづくり	1:高齢者	3	ギタリストの演奏で、70.80年代の唄を歌う。時々太鼓を使って脳トレをする。 毎月1回 概ね第3金曜日 13時～15時	12	0	163	0
78	デジタル紀行	令和6年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ボランティア育成。旅行を楽しめなくなった高齢者が回想したり、映像で楽しめる機会の提供。若年層の旅行計画の参考になる内容でケアプラザへ足を運ぶきっかけ作り。	5:地域	4	映像と語りを通して外国紀行を楽しむ。講師を招いての受け身の活動から住民主体の活動展開を目指す。年4回	2	0	15	0
79	にじいろ合唱団	令和6年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	口腔、活舌の訓練で介護予防。 活動を通しての仲間づくり。	1:高齢者	5	プロの音楽家を招き、腹式呼吸、横隔膜の使い方など声の出し方の訓練を行う。期間中に2曲挿入歌を仕上げる。 月1回	15	0	322	0
80	ホカツの健康チェック	令和6年度	7:共催（1と2と3）	1:優先的に取り組み	介護予防、同年代の仲間づくりを目的に行います。地区の保健活動推進員の協力を得ながら、高齢者の孤立化を防ぎ、健康意識を高める。	1:高齢者	5	保健活動推進員が主体で区から必要な測定器を借りて、地域向けに測定を行う。ケアプラザも協働しケアプラザの活動周知や保健師からの健康口話含む。 年1～2回	1	0	25	0
81	鴨志田囲碁倶楽部	平成18年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	囲碁を通して、住民の知り合うきっかけ、親睦を深める目的で開催。参加者による教室の企画・運営も行い、ボランティア活動を広げていく。	1:高齢者	5	講師に学びながら囲碁を楽しむ。 月2回 第1火曜日 13:00～17:00 第4日曜日 13:00～17:00	24	0	279	0
82	デッサンから学ぼう	平成27年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	デッサンの活動を通じて地域住民同士が交流を行う。	5:地域	1,4	講師を招き、コラージュ、墨絵、水彩画など、個々の希望に合わせて作品づくりができる。手作りの会です。月1回 毎月第1月曜 午後クラス 13:00～15:00	11	0	85	0
83	100歳まで歩こう	令和6年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	事業所連携。歩くことの大切さと靴の選び方を学ぶ。	1:高齢者	5	ハマリハ訪問看護ステーションと連携して、介護予防を目的に歩くことの大切さと日常履く靴の選び方を知る。講話と体操。 年1回	8	0	35	0
84	防災講座	令和7年度	7:共催（1と2と3）	1:優先的に取り組み	登録団体や近隣住民と職員のものもの時の防災の実践に結びつく訓練	5:地域	4	鴨志田消防署所長を招き、当館の所長が主導で訓練や口話を行う。避難経路の確認や消火器訓練、要援護者の搬送体験なども行った	1	0	17	0
85	ロバ隊長製作	令和7年度	7:共催（1と2と3）	1:優先的に取り組み	ロバ隊長のマスコット作りを通して地域に関心を持ってもらい、認知症等の地域課題を自分事として捉えてもらうことを目指す。	5:地域	1	不定期開催。認知症サポーターキャラバンのマスコットキャラクター「ロバ隊長」をフェルトで作成する。エリア内小学校での認知症サポーター養成講座開催後に、サポーターの証として学生に配布することが目的の一つ。他、認知症サポーターの活動機会としても。	4	0	23	0